

【参考資料】Missionに出てくる用語

No	用語	説明	出てくる場所
1	周回軌道	周囲を回る軌道（運行する道筋）である。 恒星・惑星・衛星などの天体を中心として、その周囲を公転する天体や人工衛星などの物体の軌道。	トップページ
2	ドッキング	宇宙空間で二つの人工衛星や宇宙船が合体すること。	トップページ
3	高度	空中にある測定点の高さ（海水面からの高さ）	チュートリアル1
4	速度	物の進む速さ （例）自動車の速度	チュートリアル1
5	加速度	速さや進行方向が変わるとき、その変わり方の大きさと変わる方向が加速度	チュートリアル2
6	重力加速度	地球の重力により生じる加速度 地表面上では 9.8m/s^2	チュートリアル2
7	液体酸素	液化した酸素のこと 酸素をマイナス183度にすると液体になる。 液体になると体積は気体の約800分の1になる。	チュートリアル6

【参考資料】 Missionに出てくる用語

No	用語	説明	出てくる場所
8	液体水素	液化した水素のこと 水素をマイナス252度にすると液体になる。 液体になると体積は気体の約800分の1になる。	チュートリアル6
9	推力[N]	物体をその運動すべき方向へおし進める力 消費ペース[kg/s] × エンジンの性能[m/s]	チュートリアル9
10	加速度損失	加速することにより生じるエネルギー損失 例えば空気抵抗などです。	チュートリアル10
11	固体燃料	従来は石炭，木炭などがこれに属したが，最近ではロケット燃料中の火薬系燃料（ポリウレタンやエポキシ樹脂系の高分子樹脂の推進剤）もこれに含める。 ロケットの燃料としては、ヒドラジン等が一般的である。 人には極めて有害なので注意。	チュートリアル12

【参考資料】Missionに出てくるなぜ？

No	なぜ？	説明	出てくる場所
1	加速度が大きすぎるとロケットに乗っている人が耐えられない？	強い加速度がかかると、人は耐えられなくなります。訓練されたF1レーサーや戦闘機パイロットなどで、特殊なスーツを着た状態で重力の9倍に数秒耐える位が限度で、普通の人には重力の5倍が限界です。脳に血が回らなくなってしまい、失神してしまいます。	チュートリアル 4
2	高度100,000mまでに使用可能な燃料は、打上げ時の燃料の8割？	高度100,000mに到達した時点で、必要な速度が出ていれば、その後に消費する燃料はそれほど多くなくとも加速して行けます。燃料が少なくなり、全体の重量が小さくなっているため、少ない燃料でも十分な加速度を得ることができます。	チュートリアル 8
3	液体酸素、液体水素、固体燃料の価格差	<p>固体燃料ロケットと液体燃料ロケットの比較 ＜固体燃料ロケット＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.構造が簡単なので取り扱いが容易である。 2.誘導制御が難しい。 3.燃料の保存が簡単のため、比較的安い。 <p>＜液体燃料ロケット＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.構造が複雑なので取り扱いが難しい。 2.誘導制御において優れている 3.超低温で保存するため、特別な設備が必要であり、高価となる。 	チュートリアル 12

【出典】

No	参考先	IRL
1	ファン！ファン！ J A X A ！	http://fanfun.jaxa.jp
2	コトバンク	https://kotobank.jp/